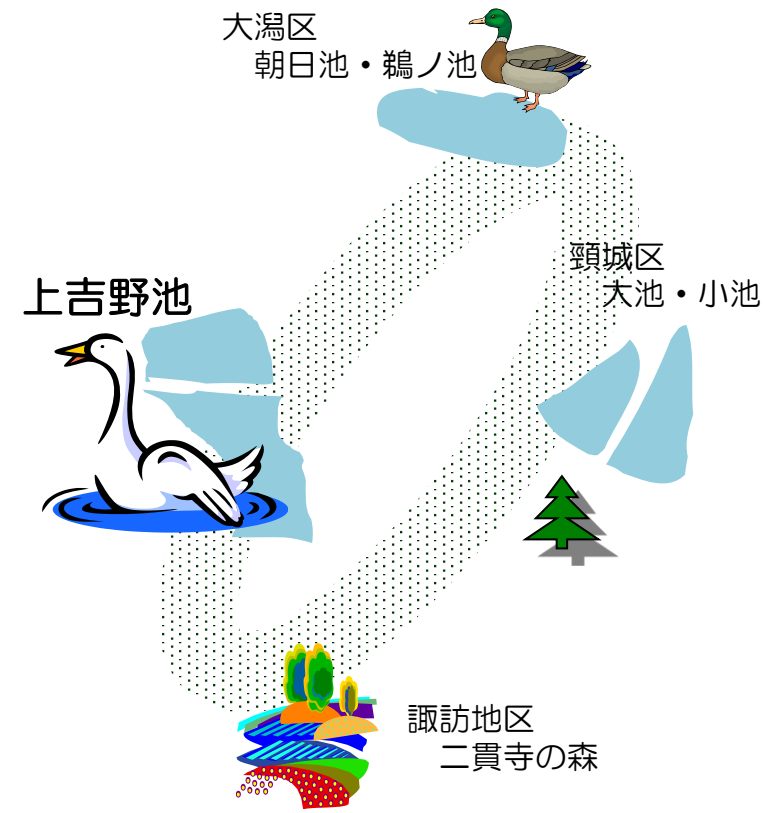


私たちの身近な地域には、鳥獣保護区などが点在し、たくさんの野鳥を見ることができます。



発行：白鳥を守る保倉の会  
上越市 自治・市民環境部環境保全課  
電話 025-526-5111  
製作協力：山田雅晴氏（上越高等学校）

～野鳥が安心してすごせるように、やさしく見守りましょう～



上吉野池(平成27年度)

## 野鳥観察のしおり

## 野鳥観察のルール

ハクチョウなどの渡り鳥は、警戒心がとても強いので、おどろかしたり、ストレスを与えると、その場所に二度と来なくなることがあります。ルールを守って、野鳥たちが安心して過ごせるようにしましょう。

**1** 観察するときは、おどろかさなないように、ゆっくりと行動しましょう。



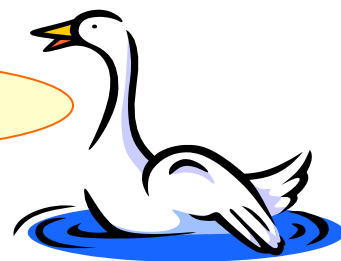
**2** 近づきすぎないように気をつけましょう。鳥が首を上げ、近づく人に注目し始めたら、それ以上近づかないようにしましょう。



**3** 犬を散歩させるときは、犬が突然近づいたり、吠えたりしないように気をつけましょう。



おどろかさなないで



**4** エサを与えないでください。池の周辺には、水田などの採食場所が豊富にあり、鳥たちは自力で食物をとることができます。自然の中で鳥たちが生きる姿を見守りましょう。

**5** 羽根などにさわらないでください。渡り鳥は、様々な細菌や寄生虫を持っている場合があります。落ちていた羽根やフンなどには直接さわらないようにしましょう。



▲田んぼで食事のコハクチョウ

**?** ハクチョウたちは、冬の間何を食べてるの？  
ハクチョウたちは、稲刈り後のひこばえ（刈った後に生える新芽）や栄養豊富な根の部分、雑草などを食べます。大好物は、マコモ（カツボ）という植物で、ほかの池に食べに行くこともあります。

## 上吉野池 冬の鳥たち

ハクチョウの渡来をきっかけに、ほかの鳥類も上吉野池を訪れるようになりました。

※オスと表示されていない鳥は、オスとメスの模様はほぼ同じです。



くちばしの黒い部分がオオハクチョウとコハクチョウを見分けるポイントです。詳しくは、後ろのページで。

コハクチョウ

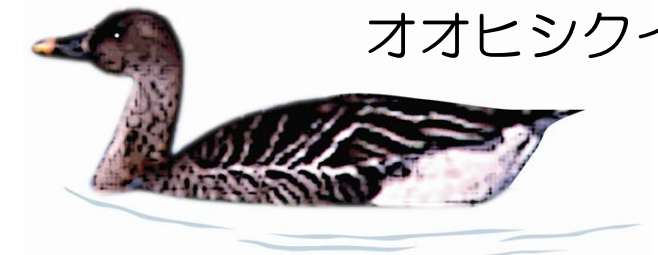
上吉野池にいるハクチョウのほとんどはコハクチョウです。10月中旬ごろに渡来し、3月末ころまで池をねぐらにしています。例年、雪が多くなる1月～2月には減少します。成鳥は白、幼鳥は灰色

オオハクチョウ



コハクチョウより少し大きいハクチョウです。上吉野池では11月ごろから10羽前後が観察されます。

オオヒシクイ



大湊区の朝日池をねぐらにするガンで、コハクチョウより少し小さい黒っぽい鳥です。12月ごろから時々、上吉野池にも入ります。国の天然記念物に指定されています。

灰色の体に茶色の頭を持つカモで、よく水に潜って食物をとります。10月中旬から見られるようになります。



オス  
ホシハジロ

秋に渡ってくる小型のカモで、上吉野池では最も数の多い水鳥です。オスは頭部が栗色と緑色できれいです。



オス  
コガモ

コガモより少し遅れて渡ってきます。首と尾羽が長いスマートな鳥です。



オス  
オナガガモ

一年中、池や水田で見られるカモです。秋になると上吉野池に集まってきます。



カルガモ

冬のカモの代表です。オスは頭部が緑色でとてもきれいな鳥です。



オス  
マガモ

秋に渡ってくる大型の白いサギで、上吉野池でもよく見られます。



ダイサギ